

第1回 ひくにマスタース水泳競技長水路大会

開 催 要 項

主 催 熊本県水泳協会・熊本市水泳協会
 主 管 熊本県マスタース水泳協会
 公 認 社団法人 日本マスタース水泳協会
 公認 番号 10-056
 後 援 熊本市教育委員会・熊本日日新聞社
 協 賛
 期 日 平成22年8月1日(日) 午前8時45分開会
 会 場 熊本市総合屋内プール(アクアドームくまもと) 50M×10コース
 〒861-4136 熊本市荒尾2丁目1番1号 日水連公認番号 5614
 電話 096-358-2711

- 参加 資格
- 1) (社)日本マスタース水泳協会へ大会申し込み日までに2010年度の登録チームから個人登録を完了した者
 - 2) 暦年令(大会開催年12月31日現在の年齢)18歳才以上の健康な男女で定期的に競泳の練習をしている者。
 - 3) 高校生には参加資格はありません。

(1) 実施種目

種 目	距 離	種 目	距 離
自 由 形	50・100・200・400 800(女子)1500(男子)	メドレーリレー	4×50m
背 泳	50・100・200	フリーリレー	4×50m
平 泳	50・100・200	混合メドレーリレー	4×50m
バタフライ	50・100・200	混合フリーリレー	4×50m
個人メドレー	200		

(2) 競技順序

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 200M 自由形 | 8. 100M 自由形 |
| 2. 200M 背泳ぎ | 9. 100M 背泳ぎ |
| 3. 200M 平泳ぎ | 10. 100M 平泳ぎ |
| 4. 200M バタフライ | 11. 100M バタフライ |
| 5. 800M 自由形(女子) | 12. 200M 混合メドレーリレー |
| 6. 1500M 自由形(男子) | 13. 400M 自由形 |
| 7. 200M メドレーリレー | 14. 200M 個人メドレー |

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 15. 200M 混合フリーリレー | 19. 50M バタフライ |
| 16. 50M 自由形 | 20. 200M フリーリレー |
| 17. 50M 背泳ぎ | |
| 18. 50M 平泳ぎ | |

(3) 種目制限

- 個人種目は1人2種目以内とする。(但しリレーは除く)
- リレーは各団体年齢区分クラスごと1チームに限る。また個人は同一リレー種目に複数の年齢グループから出場することは出来ない。
- リレー種目出場者は必ず個人エントリーしたものであり、エントリーしたクラブからの出場に限る。競技者は、各リレー競技に1回だけ出場することができる。
- 400m以上(標準記録あり)の個人種目は、デッキシーディング競技とする。

(4) 年齢区分

- 個人種目は競技者の暦年齢(大会開催年12月31日現在の年齢)により次の年齢区分によって行われる。以降同様に5歳ごとにする。

グループ	18	25	30	35	40	45	50	55	60
年 齢	18	25	30	35	40	45	50	55	60
	~	~	~	~	~	~	~	~	~
	24	29	34	39	44	49	54	59	64
グループ	65	70	75	80	85	90	95	100	
年 齢	65	70	75	80	85	90	95	100	
	~	~	~	~	~	~	~	~	
	69	74	79	84	89	94	99		

- リレー種目は競技者の4名の暦年齢((大会開催年12月31日現在の年齢)の合計により次の年齢区分によって行われる。以降同様に40歳ごとにする。

グループ	119	120	160	200	240	280	320	360	400
年 齢	119	120	160	200	240	280	320	360	400
	才	~	~	~	~	~	~	~	以上
	以下	159	199	239	279	319	359	399	

(5) 競技方法

- 全て男女別、年齢別、グループ別、タイムレース決勝とする。
- (社)日本マスターズ水泳協会競泳競技規則。(一部抜粋)
 - スタートについて(背泳ぎを除く)
 - 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台、台下(プールデッキ)、水中(プール壁)の何れからでもできる。
 - 審判長の長いホイッスルによりスタート台(台下)に上がった競技者は、スタート台(プールデッキ)前方に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。
 - スタート台または台下からスタートする競技者が、審判長の長いホイッスルによ

リスタート台前方または前縁に出た時に、誤ってプールに落ちた競技者は水中からスタートするものとし、失格にはならない。ただし、出発合図員の「用意」の号令の後に落ちた場合は、フォルススタートしたと見なされ失格となる。

- d. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルによって水に入り、直ちにスタート用グリップを片手又は両手で持ち両足を壁につける。

2. 背泳ぎ

背泳ぎの泳法には両手同時ストロークと、同時キックを併用することが出来る。

3. バタフライ

- a. バタフライのキックは、平泳ぎのキックでもよく、又ドルフィンキックを併用することも出来る。
- b. スタートおよび折返しの後、身体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに頭は水面上に出なければならない。また、次の折返しあるいはゴールまでは、競技中の1ストロークの動作中に、身体の一部が水面上に出なければならない。ただし、1ストロークの動作中に水没した状態での泳法は認められない。
- c. 全て足の上下動作は同時に行わなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、左右同時でなければならない。一かきに一回の平泳ぎの足のけりは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足のけりが許される。(MSW 10)

4. リレー種目の第1泳者の途中時間は公認記録とならない。また1500m自由形における800mの途中時間も公認記録とはならない。

(6) 表彰

1. 参加者全員に（社）日本マスターズ水泳協会公認記録証を授与する。
2. 男女別、種目別、年齢別に、個人種目1位、リレー種目1位にメダルを授与する。また、各種目(年齢区分ごとリレーも含む)3位まで賞状を授与する。

(7) 申込方法

1. 規定の個人票に必要事項を記入し、チームごとに締切日時迄に申込みすること。
2. 一覧表、個人票は日本マスターズ水泳協会の所定用紙を使用すること。
また、大会申込書と誓約書をA-4用紙に記入印刷し添えて申しこむ。
3. 個人票と一覧表の申し込み種目が異なる記入をされている場合は、個人票に書いて書いてあるほうを優先します。
熊本県マスターズ水泳協会ホームページ (<http://kumamoto-swim.com/>) よりダウンロードした申し込みデータを入れたフロッピーディスクを添えて申し込んでください。エントリーデータのみメールのときはFDの郵送は不要です。
エントリーデータのみ下記メールアドレスでも受け付けます。
E-mail : info@kumamoto-swim.com

4. リレー申込み

所定のリレーオーダー用紙に、チーム名・種目・出場選手の名前・年齢等の必要事項を記入し、リレー1種目につき個人票1枚をつけてオーダー用紙を裏に貼り申し込んでください。オーダーの届出は、申込み時(申し込み締切り日)です。

5. リレーオーダーについて

※当日のオーダー変更は申込み年齢区分内では可能です。

※変更の受付は大会総務に提出して下さい。

※年齢区分の変更は出来ません。

※ 午前の部・午後の部とも午前8時20分迄(時間厳守)に変更票の提出をして下さい。変更したリレーオーダー票と個人票1式も提出して下さい。

(8) 参加料及び振込方法

1. 個人(1種目1,500円) ただし800M・1500M(1種目2,500円)

リレー(1種目2,000円)

2. 参加料は郵便振込みを利用して下さい。申込書に振込み控えのコピーを必ず貼付して下さい。

郵便振込	口座番号	01940-8-33736
	加入者名	熊本県マスターズ水泳協会

3. プログラム 1部 1,000円 (当日1500円)

プログラムの無償配布はしません。必ずご予約をお願いします。

4. 速報 1部 1,000円 (送料込み)

(9) 申込み締切日

平成 22年 6月 16日 (水) 午後5時必着のこと。

申込み締切後の受付及び変更は認めない。

(10) 申込み先

861-3202 熊本県上益城郡御船町小坂 2251-36
熊本県マスターズ水泳協会
事務局 平田一幸
電話・Fax096-282-7160・携帯 090-3324-6450

(11) その他

1. 参加者の傷害等については、会場における応急処置以外はすべて、参加者の責任において処置すること。
2. 会場の美化整理については、各クラブで対応すること。
3. 申込書などに記載されました個人情報につきましては、競技会運営を円滑に行うために必要なものだけに使用し、その他の目的には使用しません。尚競技結果などがホームページ上に公開されますがご了承ください。

ひのくにマスタース水泳競技長水路参加標準記録

女 子	400m自由形	800m自由形	
24才以下	6分30秒00	16分00秒00	
25～29才	6分30秒00	16分00秒00	
30～34才	6分30秒00	17分00秒00	
35～39才	6分40秒00	17分00秒00	
40～44才	6分50秒00	18分00秒00	
45～49才	7分00秒00	18分00秒00	
50～54才	7分10秒00	19分30秒00	
55～59才	7分30秒00	19分30秒00	
60～64才	8分00秒00	21分00秒00	
65～69才	8分30秒00	21分00秒00	
70～74才	9分30秒00	22分30秒00	
75～79才	10分30秒00	22分30秒00	
80～84才	11分30秒00	25分00秒00	
85～89才	12分30秒00	25分00秒00	
90～94才	15分00秒00	28分00秒00	
95～99才	18分00秒00		
100才以上			

男 子	400m自由形	1500m自由形	
24才以下	5分50秒00	30分00秒00	
25～29才	5分50秒00	30分00秒00	
30～34才	5分50秒00	32分00秒00	
35～39才	6分00秒00	32分00秒00	
40～44才	6分10秒00	34分00秒00	
45～49才	6分20秒00	34分00秒00	
50～54才	6分30秒00	37分00秒00	
55～59才	6分50秒00	37分00秒00	
60～64才	7分10秒00	40分00秒00	
65～69才	7分30秒00	40分00秒00	
70～74才	8分30秒00	43分00秒00	
75～79才	9分45秒00	43分00秒00	
80～84才	11分00秒00	48分00秒00	
85～89才	13分00秒00	48分00秒00	

90～94才	15分00秒00	55分00秒00	
95～99才	18分00秒00		
100才以上			

※

- 1、400m・800m・1,500mの種目には参加標準記録があり、この記録を超過したタイムでのエントリーはできない。
- 2、800m・1,500mの出場選手数は各20名とする。出場希望選手多数の場合は抽選にて選手を決定する。抽選にもれた選手には、チームを通じて連絡して返金をする。
- 3、エントリータイムと競技結果(大会当日のレースタイム)が大幅(1,500mで5分以上800mで3分以上)に差がある場合は、遅いとき、速いときに関係なく、メダルの授与は行わない。また、参加標準記録を突破できなかった選手にも、メダルの授与は行わない。またある泳者の競技継続が、競技の進行を時間的に著しく妨げると大会委員長が判断した時は、競技中でもその泳者の競技中止を行うことがある。

水着に関する取り扱いについて

☆ 国内で行われる本協会公式・公認競技会では、水着の規定が次の通りとなります。

- 1、FINAの水着規定変更に合わせて、平成22年6月1日以降、FINAへの世界新記録の申請、日本新記録の公認については、有効なFINA公認マークが付いた水着を着用して泳いだ記録のみを対象とする。(水着の確認がある)
- 2、素材については、繊維を中心とした水着とする。ラバー及び大きなパネルが貼ってある水着は、禁止とする。
素材の規定は、平成22年7月15日より適用する。
- 3、形状については、水着が身体を覆う範囲を次の通りとする。
 - ① 男子はへそを越えず、膝までとする。
 - ② 女子は肩から膝までとする。ただし、首、肩を覆うことはできない。
形状の規定は、平成23年4月1日より適用する。
- 4、平成23年4月1日以降も、FINAの承認を受けていない水着でも使用可能とする。(ただし、素材、形状については、上記2項、3項を守ることに)